

# 守屋貴子レポート第5号

## 2月定例市議会

2月定例市議会は2月16日(月)に施政方針と議案の提案説明が本会議において行われ、スタートいたしました。

予算規模は一般会計では、1176億円で前年度比マイナス5.0%、62億円の減となり、特別会計では697億1000万円で国民健康保険特別会計など8会計で前年度比マイナス20.9%、184億6200万円の減となっています。

施政方針では、アメリカ発の金融危機の影響により、経済の停滞、景気の悪化が深刻なものとなっている中で、本市では健康・暮らし・安全といった市民の身近な施策については最優先と考えて堅実、実行型の予算編成となっています。

2月議会において守屋貴子は3つの議案について質疑を行いました。一般質問では、市川の景観の代表である「みどり」を次世代まで残していくためには保全はもちろん育成が大切であるという観点から、緑の確保目標と達成率や、公園緑地の効果的な整備について、さらには本市の巨木や市の木でもあるクロマツの保全、育成にかかわる保存樹木協定制度について、強く質しました。



安心安全の街市川を  
学童の通学交通整備の守屋貴子

またもう一点として、平成10年に導入された運転免許自主返納制度に対し、各自治体や警察、地元企業による優遇措置により、返納者が急速に増加している全国的な機運を踏まえ、本市でも独自の優遇制度を導入すべきという観点から質問をしました。市当局からは、超高齢社会を見据え総合的に捉えたい。民間企業等にも協力してもらい独自の優遇策を検討したいと大変前向きな答弁を得ました。

## 議会報告

守屋貴子は皆様からご支援を賜り、市議会へとお送りをいただいてから毎議会において欠かさず議案質疑及び、一般質問を行っております。昨年1年間の議会における一般質問については守屋貴子の政策の柱であります子育て支援、教育、都市基盤整備を中心に幅広い分野にわたり、質問をいたしました。

まず子育て支援では保育園における施策の更なる拡充についてや、障がいを持つお子様に対する支援の継続性について、強く求めました。更には、乳幼児(こどもの)医療費助成制度の所得制限撤廃についても質問をいたしました。これについては公約にも掲げさせていただいておりましたが、4月より小学校就学前までの所得制限は撤廃となりました。今後も更なる拡充に向け努力してまいります。

教育については自らの経験を生かし、学童保育の拡充や、公私立幼稚園における様々な課題解決にむけて、あるいは市立公立学校におけるスクールカウンセラー(ライフカウンセラー)についてなど、子育てをしているご家庭の抱える課題を母親世代の声として市政へ届けてまいりました。

さらに、都市基盤整備については本市の景観を踏まえた京成本線立体化について質問いたしました。

その他、新型インフルエンザに備えた対応についてや、医療制度改革を踏まえた健康診断の対象範囲拡大について、また様々な施策を実行するための本市の家計簿となる財政状況についても質問をいたしました。

これからも、市民の皆様方と共によりよい市川市をめざして活動していく所存です。どうぞより一層のご支援ご指導賜りますようお願い申し上げます。



主婦として母として  
女性の立場から地産地消  
食育をすすめる守屋貴子

## 活動報告

昨年1年間、皆様との交流の場として、あるいは議員としての視察等、様々な活動をしてまいりました。その一部をご紹介します。



平成20年2月9日(土)  
「新年のつどい」であいさつをする守屋貴子



平成20年5月21日(水)  
県立船橋特別支援学校を視察する守屋貴子



平成20年11月9日(日)  
「講演のつどい」を開催し市政報告をする守屋貴子